

「地域農業の明日を考えるシンポジウム 2022」開催要領
～みやぎの水田農業を継承・発展させるための地域連携体制の構築～

(公社) みやぎ農業振興公社
宮城県担い手育成総合支援協議会

1. 趣旨・目的

来年4月に予定されている改正農地関連法の施行により「人・農地プラン」が法定化され、地域で協議して農業の将来の在り方を「地域計画（目標地図含む）」として策定することになります。

その協議の場で話し合われる農用地の効率的な利用には、農地中間管理事業の活用等により、担い手への更なる農地の集積・集約化を如何に進めるかが重要な課題になると思われます。

そのためには、地域の中心経営体となる担い手の規模拡大・経営力向上により安定した経営体制を築くことはもとより、個別経営の枠組みを超えた連携体制の構築や食品販売・流通企業等との連携した取組も有効な手段となります。

そこで、県内の認定農業者や担い手経営体・組織リーダー、行政・JA等支援機関の関係者が一堂に会し、近未来における具体的な共通目標、そのための解決すべき課題を明らかにし、共有するため、このシンポジウムを開催するものです。

2. 日 時

令和4年11月30日（水）午後1時30分～午後4時

3. 場 所

TKPガーデンシティ仙台（AER）
30階ホール30B
（仙台市青葉区中央1-3-1 AER30階）

4. 主 催

公益社団法人みやぎ農業振興公社（宮城県農地中間管理機構）
宮城県担い手育成総合支援協議会（宮城県農業経営・就農支援センター）

5. 共 催

宮城県農政部

6. 参集範囲

農業者，市町村・農業委員会・土地改良区，JA，共済組合，県認定農業者協議会，県農業法人協会，宮城県農政部，農地中間管理事業連携協定団体・担い手協会
員各団体役職員

7. 内 容

(1) 基調講演

『地域連携による水田農業の継承と発展』

秋田県立大学生物資源科学部

准教授 中村勝則氏

(2) 事例報告

『担い手間の地域連携の取組』

栗原市 (有)川口グリーンセンター 代表取締役 白鳥正文氏

『食品関連企業の農業参入と連携体制』

(株)プレナス 米づくり事業推進室長 佐々木哲也氏

(3) 総合質疑

8. 参加申込

別紙参加申込書により、令和4年11月18日(金)まで、事務局まで連絡・報告願います(入場無料です)。

なお、コロナ禍における会場の都合により、先着140名と人数制限させていただきますので御理解願います。

○事務局：(公社)みやぎ農業振興公社担い手育成部農地集積班

宮城県担い手育成総合支援協議会事務局

・住所：〒981-0914 仙台市青葉区雨宮町4番17号 宮城県仙台合同庁舎9階

・TEL：022-275-9192 FAX：022-275-9195

・Eメール：ninaite@miyagi-agri.com